

新潟市の財務書類

【資料】

[統一的な基準]

- 貸借対照表（平成31年3月31日現在）
- 行政コスト計算書及び
純資産変動計算書（平成30年度）
- 資金収支計算書（平成30年度）
- 政令市の財政指標参考比較
- 財政指標の用語及び算出の仕方

一般会計等貸借対照表

(平成31年 3月31日現在)

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	1,249,832,324,812	固定負債	668,579,941,916
有形固定資産	1,201,960,260,373	地方債	589,492,555,203
事業用資産	526,595,382,348	長期未払金	0
土地	217,898,299,245	退職手当引当金	78,102,918,000
立木竹	36,678,870	損失補償等引当金	162,678,000
建物	702,812,672,200	その他	821,790,713
建物減価償却累計額	-418,984,021,399	流動負債	54,194,652,704
工作物	77,594,561,365	1年内償還予定地方債	47,728,125,000
工作物減価償却累計額	-54,749,068,984	未払金	56,208,188
船舶	0	未払費用	0
船舶減価償却累計額	0	前受金	0
浮標等	0	前受収益	0
浮標等減価償却累計額	0	賞与等引当金	5,507,857,000
航空機	0	預り金	862,100,756
航空機減価償却累計額	0	その他	40,361,760
その他	0		
その他減価償却累計額	0	負債合計	722,774,594,620
建設仮勘定	1,986,261,051	【純資産の部】	
インフラ資産	669,147,682,299	固定資産等形成分	1,256,392,487,503
土地	315,646,080,271	余剰分(不足分)	-710,825,661,491
建物	21,386,490,727		
建物減価償却累計額	-14,207,761,367		
工作物	616,282,028,102		
工作物減価償却累計額	-303,349,683,829		
その他	0		
その他減価償却累計額	0		
建設仮勘定	33,390,528,395		
物品	14,932,062,000		
物品減価償却累計額	-8,714,866,274		
無形固定資産	324,705,981		
ソフトウェア	156,963,981		
その他	167,742,000		
投資その他の資産	47,547,358,458		
投資及び出資金	21,022,985,560		
有価証券	353,555,468		
出資金	20,669,430,092		
その他	0		
投資損失引当金	0		
長期延滞債権	4,064,613,911		
長期貸付金	7,421,767,390		
基金	15,321,598,371		
減債基金	13,325,672,000		
その他	1,995,926,371		
その他	0		
徴収不能引当金	-283,606,774		
流動資産	18,509,095,820		
現金預金	7,045,434,093		
未収金	1,137,859,267		
短期貸付金	628,213,000		
基金	9,712,956,828		
財政調整基金	2,012,154,658		
減債基金	7,700,802,170		
棚卸資産	0		
その他	0		
徴収不能引当金	-15,367,368		
資産合計	1,268,341,420,632	純資産合計	545,566,826,012
		負債及び純資産合計	1,268,341,420,632

【様式第2号及び第3号(結合)】

一般会計等行政コスト及び純資産変動計算書

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

(単位:円)

科目	金額		
経常費用	332,001,037,082		
業務費用	203,214,865,031		
人件費	91,254,224,295		
職員給与費	78,111,589,255		
賞与等引当金繰入額	5,507,857,000		
退職手当引当金繰入額	4,125,733,000		
その他	3,509,045,040		
物件費等	106,173,417,280		
物件費	61,603,172,137		
維持補修費	13,121,731,698		
減価償却費	31,416,159,300		
その他	32,354,145		
その他の業務費用	5,787,223,456		
支払利息	4,435,890,159		
徴収不能引当金繰入額	421,593,321		
その他	929,739,976		
移転費用	128,786,172,051		
補助金等	29,847,658,667		
社会保障給付	63,015,258,568		
他会計への繰出金	35,292,950,345		
その他	630,304,471		
経常収益	12,566,258,645		
使用料及び手数料	9,176,032,862		
その他	3,390,225,783		
純経常行政コスト	319,434,778,437		
臨時損失	332,086,914		
災害復旧事業費	166,940,000		
資産除売却損	165,146,914		
投資損失引当金繰入額	0		
損失補償等引当金繰入額	0		
その他	0		
臨時利益	516,250,029		
資産売却益	483,296,029		
その他	32,954,000		
純行政コスト	319,250,615,322		
財源	299,576,000,563		
税込等	219,019,233,388		
国県等補助金	80,556,767,175		
本年度差額	-19,674,614,759		
固定資産等の変動(内部変動)			
有形固定資産等の増加		-13,997,837,942	13,997,837,942
有形固定資産等の減少		17,885,126,717	-17,885,126,717
貸付金・基金等の増加		-31,924,049,993	31,924,049,993
貸付金・基金等の減少		25,277,634,289	-25,277,634,289
資産評価差額	372,780	372,780	
無償所管換等	1,134,837,170	1,134,837,170	
その他	-5,084,001	0	-5,084,001
本年度純資産変動額	-18,544,488,810	-12,862,627,992	-5,681,860,818
前年度末純資産残高	564,111,314,822	1,269,255,115,495	-705,143,800,673
本年度末純資産残高	545,566,826,012	1,256,392,487,503	-710,825,661,491

【様式第4号】

一般会計等資金収支計算書

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

(単位:円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	303,975,062,610
業務費用支出	175,188,890,559
人件費支出	95,077,853,061
物件費等支出	74,757,257,980
支払利息支出	4,435,890,159
その他の支出	917,889,359
移転費用支出	128,786,172,051
補助金等支出	29,847,658,667
社会保障給付支出	63,015,258,568
他会計への繰出支出	35,292,950,345
その他の支出	630,304,471
業務収入	304,240,659,366
税込等収入	218,835,849,048
国県等補助金収入	72,918,178,563
使用料及び手数料収入	9,155,029,597
その他の収入	3,331,602,158
臨時支出	166,940,000
災害復旧事業費支出	166,940,000
その他の支出	0
臨時収入	0
業務活動収支	98,656,756
【投資活動収支】	
投資活動支出	26,440,118,662
公共施設等整備費支出	17,885,126,717
基金積立金支出	7,573,963,775
投資及び出資金支出	467,078,000
貸付金支出	513,950,170
その他の支出	0
投資活動収入	16,966,982,031
国県等補助金収入	7,638,588,612
基金取崩収入	7,844,814,411
貸付金元金回収収入	654,569,200
資産売却収入	826,039,808
その他の収入	2,970,000
投資活動収支	-9,473,136,631
【財務活動収支】	
財務活動支出	61,639,077,651
地方債償還支出	61,580,364,391
その他の支出	58,713,260
財務活動収入	73,886,997,000
地方債発行収入	73,886,997,000
その他の収入	0
財務活動収支	12,247,919,349
本年度資金収支額	2,873,439,474
前年度末資金残高	3,309,893,863
本年度末資金残高	6,183,333,337
前年度末歳計外現金残高	861,899,308
本年度歳計外現金増減額	201,448
本年度末歳計外現金残高	862,100,756
本年度末現金預金残高	7,045,434,093

全体貸借対照表

(平成31年 3月31日現在)

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	2,005,266,694,431	固定負債	1,268,030,835,657
有形固定資産	1,947,381,413,148	地方債	960,735,142,412
事業用資産	554,792,575,583	長期未払金	0
土地	224,764,802,621	退職手当引当金	85,685,247,299
立木竹	36,678,870	損失補償等引当金	162,678,000
建物	739,599,547,735	その他	221,447,767,946
建物減価償却累計額	-434,850,837,873	流動負債	99,892,697,316
工作物	79,845,015,883	1年内償還予定地方債	74,221,828,295
工作物減価償却累計額	-56,588,892,704	未払金	16,736,463,058
船舶	0	未払費用	0
船舶減価償却累計額	0	前受金	0
浮標等	0	前受収益	0
浮標等減価償却累計額	0	賞与等引当金	6,588,736,110
航空機	0	預り金	960,002,293
航空機減価償却累計額	0	その他	1,385,667,560
その他	0		
その他減価償却累計額	0	負債合計	1,367,923,532,973
建設仮勘定	1,986,261,051	【純資産の部】	
インフラ資産	1,329,624,409,223	固定資産等形成分	2,012,406,522,633
土地	339,816,760,521	余剰分(不足分)	-1,311,862,979,338
建物	53,174,273,509		
建物減価償却累計額	-24,508,755,467		
工作物	1,465,315,616,331		
工作物減価償却累計額	-552,962,782,030		
その他	0		
その他減価償却累計額	0		
建設仮勘定	48,789,296,359		
物品	155,148,948,120		
物品減価償却累計額	-92,184,519,778		
無形固定資産	20,419,053,716		
ソフトウェア	1,467,396,509		
その他	18,951,657,207		
投資その他の資産	37,466,227,567		
投資及び出資金	7,058,572,560		
有価証券	353,555,468		
出資金	6,690,009,092		
その他	15,008,000		
投資損失引当金	0		
長期延滞債権	6,414,396,473		
長期貸付金	7,439,767,390		
基金	17,377,947,089		
減債基金	13,325,672,000		
その他	4,052,275,089		
その他	0		
徴収不能引当金	-824,455,945		
流動資産	63,200,381,837		
現金預金	38,235,400,505		
未収金	10,363,244,842		
短期貸付金	628,213,000		
基金	12,810,594,727		
財政調整基金	5,109,792,557		
減債基金	7,700,802,170		
棚卸資産	208,553,377		
その他	991,044,004		
徴収不能引当金	-36,668,618		
資産合計	2,068,467,076,268	純資産合計	700,543,543,295
		負債及び純資産合計	2,068,467,076,268

全体行政コスト及び純資産変動計算書

自 平成30年 4月 1日
至 平成31年 3月31日

(単位:円)

科目	金額	金額	
経常費用	525,602,413,249		
業務費用	279,448,119,013		
人件費	107,868,056,344		
職員給与費	91,439,673,750		
賞与等引当金繰入額	6,588,736,110		
退職手当引当金繰入額	4,562,531,731		
その他	5,277,114,753		
物件費等	154,993,135,341		
物件費	82,124,692,957		
維持補修費	15,368,384,426		
減価償却費	57,467,703,813		
その他	32,354,145		
その他の業務費用	16,586,927,328		
支払利息	11,294,372,216		
徴収不能引当金繰入額	897,274,004		
その他	4,395,281,108		
移転費用	246,154,294,236		
補助金等	31,690,278,290		
社会保障給付	213,797,956,015		
他会計への繰出金	0		
その他	666,059,931		
経常収益	61,985,024,337		
使用料及び手数料	55,891,452,527		
その他	6,093,571,810		
純経常行政コスト	463,617,388,912		
臨時損失	1,560,153,622		
災害復旧事業費	166,940,000		
資産除売却損	559,331,114		
投資損失引当金繰入額	0		
損失補償等引当金繰入額	0		
その他	833,882,508		
臨時利益	900,961,259		
資産売却益	483,296,029		
その他	417,665,230		
純行政コスト	464,276,581,275		
財源	447,504,871,673		
税収等	278,259,588,433		
国県等補助金	169,245,283,240		
本年度差額	-16,771,709,602		
固定資産等の変動(内部変動)			
有形固定資産等の増加		-12,097,596,241	12,097,596,241
有形固定資産等の減少		72,624,430,185	-72,624,430,185
貸付金・基金等の増加		-85,877,851,411	85,877,851,411
貸付金・基金等の減少		26,446,215,940	-26,446,215,940
資産評価差額	372,780	-25,290,390,955	25,290,390,955
無償所管換等	1,988,195,353	372,780	
その他	-5,084,001	1,988,195,353	
本年度純資産変動額	-14,788,225,470	0	-5,084,001
前年度末純資産残高	715,331,768,765	-10,109,028,108	-4,679,197,362
本年度末純資産残高	700,543,543,295	2,022,515,550,741	-1,307,183,781,976
		2,012,406,522,633	-1,311,862,979,338

【様式第4号】

全体資金収支計算書

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

(単位:円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	470,638,494,446
業務費用支出	224,484,200,210
人件費支出	111,803,553,633
物件費等支出	97,000,515,349
支払利息支出	11,294,372,216
その他の支出	4,385,759,012
移転費用支出	246,154,294,236
補助金等支出	31,690,278,290
社会保障給付支出	213,797,956,015
他会計への繰出支出	0
その他の支出	666,059,931
業務収入	495,270,066,531
税込等収入	277,150,741,979
国県等補助金収入	155,794,655,184
使用料及び手数料収入	56,288,597,320
その他の収入	6,036,072,048
臨時支出	1,000,822,508
災害復旧事業費支出	166,940,000
その他の支出	833,882,508
臨時収入	369,708,063
業務活動収支	24,000,457,640
【投資活動収支】	
投資活動支出	54,181,178,619
公共施設等整備費支出	44,457,605,023
基金積立金支出	9,206,545,426
投資及び出資金支出	3,078,000
貸付金支出	513,950,170
その他の支出	0
投資活動収入	22,436,644,706
国県等補助金収入	13,049,113,272
基金取崩収入	7,892,656,411
貸付金元金回収収入	660,569,200
資産売却収入	831,335,823
その他の収入	2,970,000
投資活動収支	-31,744,533,913
【財務活動収支】	
財務活動支出	86,841,931,452
地方債償還支出	86,653,067,792
その他の支出	188,863,660
財務活動収入	96,994,597,000
地方債発行収入	96,994,597,000
その他の収入	0
財務活動収支	10,152,665,548
本年度資金収支額	2,408,589,275
前年度末資金残高	34,964,710,474
本年度末資金残高	37,373,299,749
前年度末歳計外現金残高	861,899,308
本年度歳計外現金増減額	201,448
本年度末歳計外現金残高	862,100,756
本年度末現金預金残高	38,235,400,505

平成30年度 新潟市財政指標

市町村名	平成30年度末									
	住民一人あたり資産額(千円)	歳入額対資産比率(年)	有形固定資産減価償却率(%)	純資産比率(%)	将来世代負担比率(%)	住民一人あたり負債額(千円)	基礎的財政収支(千円)	住民一人あたり行政コスト(千円)	受益者負担の割合(%)	
新潟市	1,600	3.2	55.8	43.0	33.8	912	△ 5,209,440	403	3.8	

平成29年度 政令市の財政指標参考比較(一般会計等財務書類)

市町村名		平成29年度末									
1	札幌市	1,405	2.7	66.7	48.8	35.5	720	△ 11,473,000	425	4.9	
2	仙台市	1,499	2.7	61.3	37.2	52.5	942	446,000	401	6.7	
3	さいたま市	1,286	2.9	57.9	66.6	17.5	429	12,443,000	345	4.1	
4	千葉市	2,482	4.6	68.0	61.6	26.1	954	18,319,660	383	5.8	
5	横浜市	2,527	5.6	55.3	69.5	20.4	770	△ 38,047,000	401	4.9	
6	川崎市	2,170	4.3	60.1	63.3	30.6	796	5,137,914	379	6.6	
7	相模原市	2,526	6.0	63.3	82.1	7.9	452	2,510,000	370	3.9	
8	新潟市	1,605	3.1	54.2	44.1	34.0	897	△ 25,875,270	444	3.4	
9	静岡市	2,514	4.6	65.9	68.9	17.3	781	△ 41,042	396	4.9	
10	浜松市	1,736	4.0	65.3	74.4	12.3	444	4,257,281	391	4.2	
11	名古屋	1,610	2.9	68.0	48.4	41.0	831	59,398,000	421	8.5	
12	京都市	2,514	4.0	62.8	53.8	34.9	1,161	11,210,000	427	7.3	
13	大阪市	5,981	6.1	54.3	76.6	18.5	1,402	210,886,000	498	10.8	
14	堺市	2,568	5.2	68.1	70.7	14.1	752	△ 15,189,000	429	3.2	
15	神戸市	2,532	4.0	67.4	62.9	25.2	939	17,640,000	448	7.9	
16	岡山市	1,188	2.5	62.1	49.8	26.7	596	2,211,000	404	4.0	
17	広島市	1,593	2.8	63.7	34.4	47.6	1,045	△ 776,000	438	4.1	
18	北九州市	2,658	4.0	67.6	52.3	36.5	1,267	△ 1,945,000	468	7.1	
19	福岡市	2,044	3.2	58.9	49.6	42.5	1,031	27,626,000	422	7.4	
20	熊本市	1,126	2.2	56.5	41.3	30.0	660	△ 16,039,761	426	4.7	
政令市平均		2,407	4.2	62.0	63.3	25.8	884	13,134,939	420	6.4	

※平成31年3月総務省公表の「地方公会計の推進に関する研究会報告書(平成30年度)」の指標を基に、各政令市HP等を参考に新潟市で独自に試算。

※令和元年9月末現在

財政指標の用語及び算出の仕方

(総務省「地方公会計の活用の促進に関する研究会報告書」などを参考に算出)

1 住民1人あたり資産額(千円)

$$\text{住民1人あたり資産額} = \text{資産合計} / \text{住民基本台帳人口}$$

住民1人あたり資産額を算出することにより、将来世代に残っている資産がどれくらいあるかを表し、資産形成度を比較します。本市の資産額が政令市平均より下回っている要因として、改訂モデル採用の都市との比較では、政令市としての経過年数が他の政令市より短いことから、政令市の移譲事務である国県道の整備に基づく生活インフラ・国土保全の資産が少ないこと、また基準モデル採用の都市との比較では、昭和43年以前の全ての資産を計上していることなどがあげられます。

2 歳入額対資産比率(年)

$$\text{歳入額対資産比率} = \text{資産合計} / \text{歳入総額(収入合計+期首歳計現金残高)}$$

当年度の歳入総額に対する資産の比率を算定することにより、これまで形成されたストックとしての資産が、歳入の何年分に相当するかを表し、これまでの資産形成施策へのシフト度合いを測ることができます。

3 有形固定資産減価償却率(%)

$$\begin{aligned} & \text{有形固定資産減価償却率} \\ & = \text{減価償却累計額} / (\text{有形固定資産}-\text{土地}+\text{減価償却累計額}) \end{aligned}$$

有形固定資産のうち、建物や工作物など耐用年数のある償却資産について、取得価格に対する減価償却累計額の割合を計算することにより、耐用年数に対して資産取得からどの程度経過しているのかを表します。都市基盤や各種施設の整備に対する老朽化の度合い、資産の延命化や施設の見直しの必要性などがわかります。

4 純資産比率(%)

$$\text{純資産比率} = \text{純資産総額} / \text{資産総額}$$

地方公共団体は、地方債の発行を通じて、将来世代と現世代の負担の配分を行っており、純資産の変動は、将来世代と現世代との間で負担の割合が変動したことを意味します。将来に対する行政サービスを提供するうえで、現世代が自らの負担によって将来世代も利用可能な資産をどのくらい蓄積しているかを表しますが、純資産の減少は、将来世代に負担が先送りされたこと(負債比率の増)を意味します。

5 将来世代負担比率（％）

$$\text{将来世代負担比率} = \text{地方債残高（特例地方債を除く）} / \text{有形・無形固定資産合計}$$

都市基盤や各種施設の整備など、これまで形成された社会資本に対して、将来返済が必要な負債がどれくらいあるかを表します。地方債残高からは、社会資本形成の財源に直接充当していない臨時財政対策債や減税補てん債等は除きます。

6 住民1人あたり負債額（千円）

$$\text{住民1人あたり負債額} = \text{負債総額} / \text{住民基本台帳人口}$$

住民1人あたり負債額を算出することにより、将来世代に残っている負債がどれくらいあるかを表し、財政の持続可能性（健全性）を比較することができます。

7 基礎的財政収支（プライマリーバランス）（千円）

$$\text{基礎的財政収支} = \text{業務活動収支（支払利息除く）} + \text{投資活動収支（基金を除く）}$$

公債の元利償還額等を除いた歳出と公債発行収入等を除いた歳入のバランスを表し、財政の持続可能性（健全性）を比較することができます。

8 住民1人あたり行政コスト（千円）

$$\text{住民1人あたり行政コスト} = \text{純行政コスト} / \text{住民基本台帳人口}$$

住民1人あたり行政コストを算出することにより、地方公共団体の行政サービスに係る費用がどれくらいかを表し、行政サービスの効率性を比較することができます。

9 受益者負担の割合（％）

$$\text{受益者負担の割合} = \text{経常収益} / \text{経常費用（経常行政コスト）}$$

行政サービスの提供に対する受益者負担の割合を表すことにより、受益者負担の水準を比較することができます。